

## 第12節 景観

### 12-1 調査

#### 1. 調査項目及び調査地点等

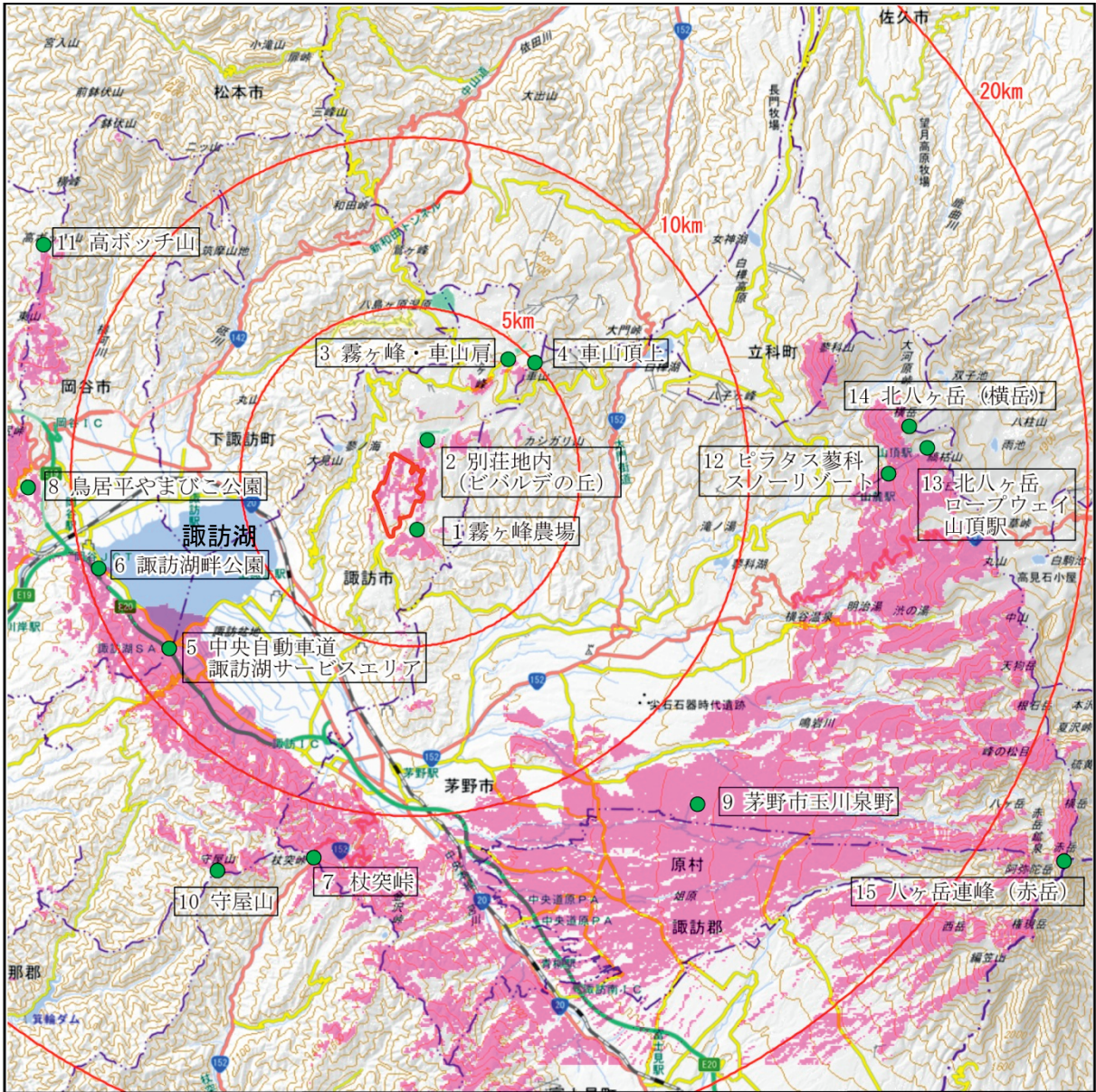
調査項目及び調査方法、調査地点等を表 4-12-1～2、及び図 4-12-1 に示す。

表 4-12-1 現地調査内容（景観）

環境要素	調査項目	調査方法	調査頻度・時期等	調査地点数
景観 ・景観資源及び構成要素 ・主要な景観	景観資源及び構成要素	現地踏査及び写真撮影	1回	15地点
	主要な景観	現地踏査及び写真撮影	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地点 1～10 4回／年（春季、夏季、秋季、冬季）</li> <li>・地点 11 3回／年（春季、夏季、秋季）</li> <li>・地点 12 1回／年（冬季）</li> <li>・地点 13～15 1回／年（秋季）</li> </ul>	

表 4-12-2 景観に係る現地調査地点の設定理由

地点番号	地点名	設定根拠
1	霧ヶ峰農場	対象事業実施区域の近隣に位置する生活の場であるため、調査地点として選定した。
2	別荘地内（ビバルデの丘）	
3	霧ヶ峰・車山肩	
4	車山頂上	
5	中央自動車道諏訪湖サービスエリア	
6	諏訪湖畔公園	
7	杖突峠	
8	鳥居平やまびこ公園	
9	茅野市玉川泉野	対象事業実施区域が可視範囲に含まれる範囲の中で、集落の代表地点として選定した。
10	守屋山	対象事業実施区域が眺望に含まれ、多数の利用がある場所であるため、調査地点として選定した。
11	高ボッチ山	
12	ピラタス蓼科スノーリゾート	
13	北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅	
14	北八ヶ岳（横岳）	
15	八ヶ岳連峰（赤岳）	対象事業実施区域が眺望に含まれる山岳地の頂上であるため、調査地点として選定した。
—	霧鐘塔	対象事業実施区域が眺望に含まれないことから、調査地点として選定しなかった。



凡 例

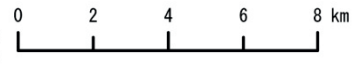
対象事業実施区域

● 景観調査地点

可視範囲

(対象事業実施区域の上部で尾根上に位置するもっとも見えやすい場所が見える範囲を示す)

図 4-12-1  
景観調査地点



1:200,000

## 2. 調査結果

### 1) 対象事業実施区域及びその周辺の地形・植生・土地利用

#### (1) 地形的特徴

対象事業実施区域は、諏訪盆地から霧ヶ峰に至る山地の南西斜面中腹に位置する。霧ヶ峰は、車山（標高 1924.7m）を最高点とするなだらかな台地状の高原であり、各所から八ヶ岳連峰をはじめ、南アルプス、中央アルプス、北アルプス、富士山、御嶽山、浅間山等のがわが国を代表する山岳の眺望を得られる。

対象事業実施区域は諏訪盆地に面した南西斜面に位置し、かつ標高が高い場所に位置しながらも、茅野横河川のやや奥まった谷を中心としたエリアであること、斜面下部に張り出した尾根状の地形が存在することなどから、低地からの眺望は概ね遮られており、眺望が開けているのは、対象事業実施区域よりも標高の高い場所である。

#### (2) 植生・土地利用の状況

対象事業実施区域及びその周辺は、主としてカラマツ植林やアカマツ群落、クレーミズナラ群落を主体とする落葉広葉樹林が混在している。

対象事業実施区域は、かつては採草地として利用されていた。その後部分的にカラマツが植林されて現在に至っている。

### 2) 景観資源・構成要素

「第2章 地域概況」の「3-6 景観・文化財の状況」で示したとおり、対象事業実施区域の周辺には自然景観資源として「霧ヶ峰」、「霧ヶ峰湿原」、「池のくるみ湿原」の3つがある（「第3回自然環境保全基礎調査—長野県自然環境情報図」平成元年、環境庁による）。

「霧ヶ峰」は対象事業実施区域の北側に位置する、台地上の火山性高原である。最高点車山（標高 1,925m）を中心として広大な草原が広がり、諏訪盆地と諏訪湖、そして八ヶ岳連峰、富士山、南アルプス、中央アルプス、北アルプス等の雄大な眺望が得られる。特徴的な草花が数多く見られ、特にニッコウキスゲが見頃となる7月下旬は大勢の観光客で賑わう。対象事業実施区域は利用拠点である車山山頂及び車山肩から一部が見える。

「霧ヶ峰湿原」は、霧ヶ峰高原内に位置する典型的な高層湿原である。この名称は、一般的には霧ヶ峰最大の湿原である「八島ヶ原湿原」を指すが、同じ霧ヶ峰にある「池のくるみ湿原」及び「車山湿原」と合わせ「霧ヶ峰湿原植物群落」として国の天然記念物になっている。対象事業実施区域は「霧ヶ峰湿原」及び「池のくるみ湿原」からは見えない。

### 3) 主要な景観

調査地点ごとの主要な景観の調査結果を、図4-12-3(1)～(3)に示す。

表 4-12-3(1) 主要な景観の状況

地点番号	地点名	主要な景観の状況
1	霧ヶ峰農場	対象事業実施区域境界まで約 0.7km と近接している。樹林の背後に見える尾根筋とその手間側の斜面が対象事業実施区域である。農耕地内であり、耕作が行われているため、眺望は作物の状況により変化する。調査実施時はトウモロコシが栽培され、夏季はその生長によって眺望が遮られた。遠景はカラマツ林が主体であり、晩秋には落葉する。
2	別荘地内 (ビバルデの丘)	対象事業実施区域境界まで約 0.7km と近接している。対象事業実施区域との間に樹林帯があり、その隙間に見える斜面が対象事業実施区域である。別荘地内であり、周囲は広葉樹やカラマツ林が主体の森林となっている。春から秋までは緑が多く、晩秋には落葉する。

表 4-12-3(2) 主要な景観の状況

地点番号	地点名	主要な景観の状況
3	霧ヶ峰・車山肩	対象事業実施区域境界までは約 5.1km 離れている。霧ヶ峰草原の中心部であり、草原が広がる独特な景観が見られる。遠景は諏訪盆地を挟んで守屋山と、その向こうに中央アルプスの山並みが連なる。対象事業実施区域は、谷状の鞍部に斜面の一部が垣間見える。草原が主体のため、緑となるのは初夏～初秋の短い期間である。付近にはニッコウキスゲやマツムシソウなど、高原草地に特有の植物が多数見られる。冬季は積雪に覆われる。
4	車山頂上	対象事業実施区域境界までは約 5.7km 離れている。車山の周辺は霧ヶ峰の草原地帯であり、草原が広がる独特な景観が見られる。遠景は諏訪盆地を挟んで守屋山と、その向こうに中央アルプスの山並みが連なる。対象事業実施区域は、手前下方の小ピーク・ガボッチョの右奥に斜面の一部が見える。草原が主体のため、緑となるのは初夏～初秋の短い期間である。冬季は積雪に覆われる。
5	中央自動車道諏訪湖サービスエリア	対象事業実施区域境界までは約 7.3km 離れている。高台からの景観であり、眼下には諏訪湖と水田や市街地、遠景は霧ヶ峰から諏訪盆地へ下る斜面と、その向こうに八ヶ岳連峰が望める。対象事業実施区域は尾根越しの反対側斜面であり、尾根筋の一部が見える。水田はイネの生育に伴い景観が変化する。また遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。高速道路沿いは広葉樹が生育しており、秋は紅葉が楽しめる。
6	諏訪湖畔公園	対象事業実施区域境界までは約 8.2km 離れている。諏訪湖岸に位置し、近景の岸辺はヨシ原、遠景は霧ヶ峰から八ヶ岳に連なる山並みが望める。対象事業実施区域は尾根越しの反対側斜面であり、尾根筋の一部が見える。ヨシ原は春～秋は緑、秋～春は茶色となる。また、遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。冬季は積雪があるが、平地部に位置するため少ない。諏訪湖は厳冬期には結氷することがあり、特異な景観が見られる。
7	杖突峠	対象事業実施区域境界までは約 9km 離れている。諏訪盆地の縁にあたる位置であり、眼下に諏訪盆地とその背後に霧ヶ峰や八ヶ岳連峰の山並みを眺められる、絶景ポイントである。対象事業実施区域は、諏訪盆地から車山に至る斜面の中腹に位置し、尾根筋の斜面が見える。遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。冬季は積雪があり、雪化粧をした風景が見られる。
8	鳥居平やまびこ公園	対象事業実施区域境界までは約 10.3km 離れている。小ピークが公園として整備されており、展望台も設置されている。眼下に諏訪盆地と諏訪湖、その向こうに霧ヶ峰や八ヶ岳連峰が望める。対象事業実施区域は尾根越しの反対側斜面であり、尾根筋の一部が見える。周囲と遠景は森林であり、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。公園の開園期間は春から秋にかけてであり、冬季は閉園となる。
9	茅野市玉川泉野	対象事業実施区域境界までは約 10.7km 離れている。近景は農地と集落、遠景に霧ヶ峰・車山の山地が望める。対象事業実施区域は、霧ヶ峰から延びる斜面の上部に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。周囲に広がる水田は、イネの生育に伴い景観が変化する。遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。

表 4-12-3(3) 主要な景観の状況

地点番号	地点名	主要な景観の状況
10	守屋山	対象事業実施区域境界までは約 11.1km 離れている。山頂からは諏訪盆地と諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳連峰をはじめ、南アルプス、中央アルプス、北アルプスなど周囲の山岳の眺望が得られる。対象事業実施区域は、諏訪盆地を挟んだ向かい側の斜面であり、尾根筋を中心に比較的広い範囲が見える。山頂周囲と遠景は森林であり、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。冬季は積雪があるものの、良好な眺望が得られることから、多くの登山者が利用している。
11	高ボッチ山	対象事業実施区域境界までは約 11.5km 離れている。遠景に諏訪盆地と諏訪湖、それを囲むように八ヶ岳連峰、富士山、南アルプスを望む絶景ポイントであり、写真愛好家も多く訪れている。対象事業実施区域は尾根越しの反対側斜面であり、尾根筋の一部が見える。高ボッチ山頂上周辺は草地が広がり、緑となるのは初夏～初秋の短い期間である。遠景の山は、夏は緑、秋から冬を経て春までは落葉し茶色となる。冬季は積雪があり、アクセス道路は冬季閉鎖となる。
12	ピラタス蓼科 スノーリゾート	対象事業実施区域境界までは約 13.4km 離れている。ピラタス蓼科スノーリゾートのスキー場内にあり、利用は冬季に限られる。グレンデは南西方向に延びており、西から北西方向に連なる中央アルプス、御嶽山、北アルプス及び北西方向の霧ヶ峰方面の眺望が良い。対象事業実施区域は霧ヶ峰から諏訪盆地に連なる斜面中腹に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。
13	北八ヶ岳ロープウェイ 山頂駅	対象事業実施区域境界までは約 14.6km 離れている。亜高山帯に位置する。西から北西方向に連なる中央アルプス、御嶽山、北アルプス方面が望める。山頂駅にはロープウェイを利用して四季を通じて到達することができるものの、展望台は冬期間は閉鎖となる。対象事業実施区域は霧ヶ峰から諏訪盆地に連なる斜面中腹に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。無雪期は亜高山帯針葉樹林と、点在する草地の緑が濃くなる。
14	北八ヶ岳（横岳）	対象事業実施区域境界までは約 14.4km 離れている。標高 2,800m を越える亜高山帯に位置する。西から北西方向に連なる中央アルプス、御嶽山、北アルプス及び北西方向の霧ヶ峰方面の眺望が良い。高標高地であることから、年の半分近くは積雪がある。対象事業実施区域は霧ヶ峰から諏訪盆地に連なる斜面中腹に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。無雪期は亜高山帯針葉樹林と、点在する草地の緑が濃くなる。
15	八ヶ岳連峰（赤岳）	対象事業実施区域境界までは約 21.7km 離れている。八ヶ岳の最高峰である赤岳頂上からは、360° のパノラマが得られ、富士山、南アルプス、中央アルプス、御嶽山、北アルプス、霧ヶ峰など多くの山岳が望める。3,000m 近い高標高地であることから年の半分近くは積雪があり、無雪期の登山は、7月下旬から10月上旬に限定される。対象事業実施区域は霧ヶ峰から諏訪盆地に連なる斜面中腹に位置し、尾根筋の斜面の一部が見える。赤岳周辺は切り立った岩塊が多く、高山植物も見られる。

## 12-2 予測及び評価の結果

### 1. 予測地域及び地点

予測地域は対象事業実施区域及びその周辺とし、予測地点は景観の現地調査地点 15 地点のうち、眺望及び利用の状況等から、表 4-12-4(1)～(2)及び図 4-12-2 に示す 7 地点を対象とした。

表 4-12-4(1) 景観に係る予測地点の選定結果

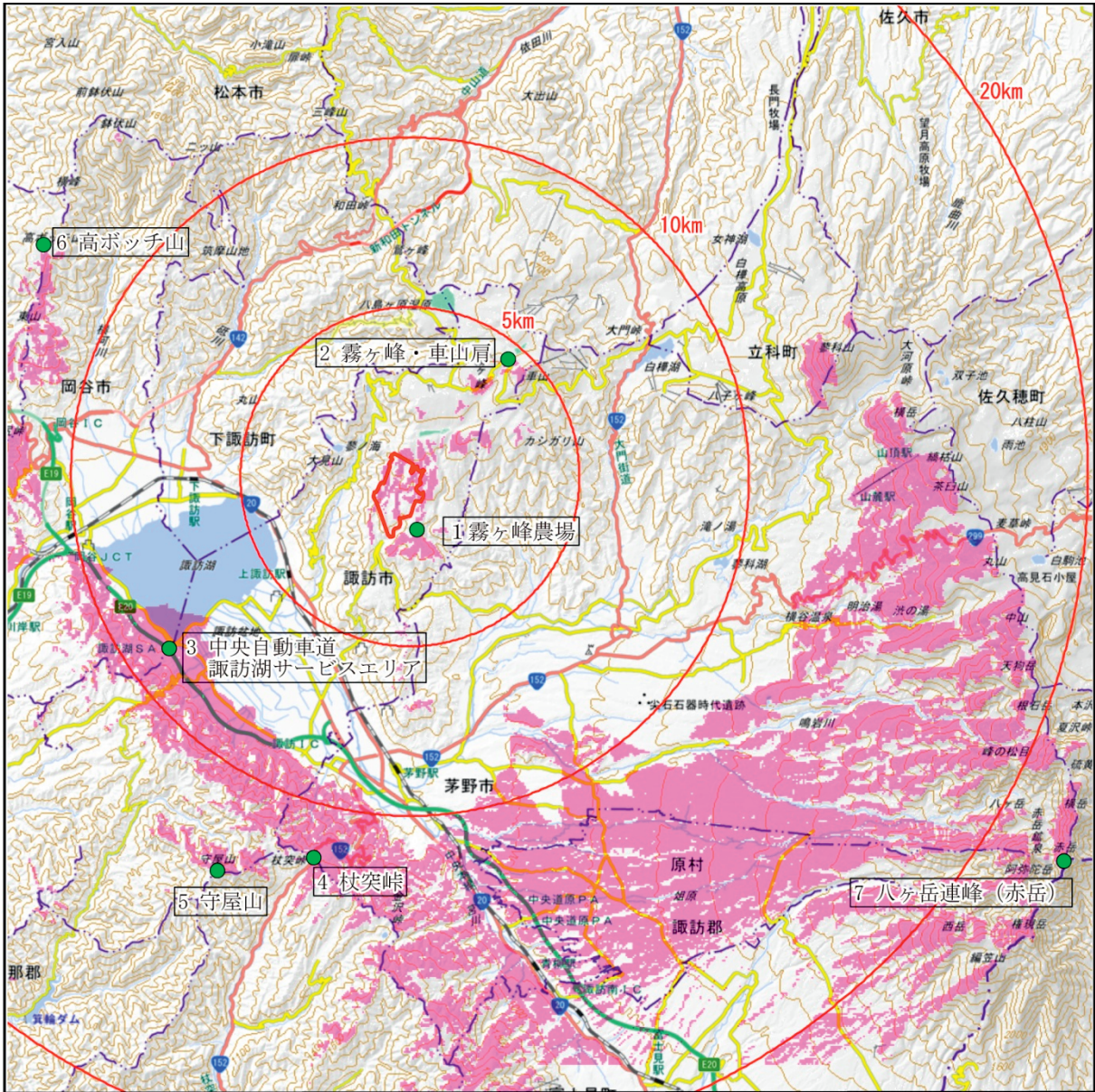
地点番号	地点名	対象事業実施区域までの距離 <sup>注</sup>	俯角	可視領域を加味した水平角(°)	可視領域を加味した垂直角(°)	予測実施地点	理由
1	霧ヶ峰農場	中景 (0.5～3km)	3.0	80.3	3.2	○ 予測地点 1	対象事業実施区域から唯一、比較的近い距離で対象事業実施区域方面が眺望できる地域であることから対象とする。
2	別荘地内 (ビバルデの丘)	中景 (0.5～3km)	-5.4	25.7	0.1	—	対象事業実施区域に近く、主要な眺望の方向と重なるものの、利用が別荘住民に限定されることから対象としない。
3	霧ヶ峰・車山肩	遠景 (3～10km)	-4.6	7.5	0.4	○ 予測地点 2	ビーナスライン沿いにあり、アクセスが容易であることから利用者が多い。眺望地点となっており、対象事業実施区域方面が眺望できることから対象とする。
4	車山頂上	遠景 (3～10km)	-5.2	11.5	0.1	—	利用者は多いが、より簡単にアクセスできる霧ヶ峰・車山肩とほぼ同じ眺望となるため、霧ヶ峰・車山肩に代表させ、対象としない。
5	中央自動車道諏訪湖サービスエリア	遠景 (3～10km)	4.2	11.8	0.6	○ 予測地点 3	中央自動車道の主要な SA であり、多くの利用者がある。諏訪湖方面の眺望地点にもなっており、対象事業実施区域方面が眺望できることから対象とする。
6	諏訪湖畔公園	遠景 (3～10km)	4.1	11.9	0.2	—	市民による利用があり、対象事業実施区域方面が眺望できるが、事業面積に占める可視領域の割合が少ない。可視領域の分布が諏訪湖 SA とほぼ同じであり、利用状況も諏訪湖 SA と比べて少ないことから、諏訪湖 SA に代表させ、対象としない。
7	杖突峠	遠景 (3～10km)	1.2	8.0	1.3	○ 予測地点 4	観光客等の利用があり、展望台から対象事業実施区域方面が眺望できることから対象とする。
8	鳥居平やまびこ公園	遠景 (10km～)	2.0	9.9	0.9	—	市民の利用があり、対象事業実施区域方面が眺望できるが、10km 離れている上、事業面積に占める可視領域の割合が少ないことから対象としない。

注) 近景・中景・遠景:影響調査における景観については、視点場からの距離により、近景(視点場からの距離が概ね 0.1km～0.5km)、中景(視点場からの距離が概ね 0.5km～3.0km)、遠景(視点場からの距離が概ね 3.0km～)の 3 つに分類されている。

表 4-12-4(2) 景観に係る予測地点の選定結果

地点番号	地点名	対象事業実施区域までの距離 <sup>注</sup>	俯角	可視領域を加味した水平角(°)	可視領域を加味した垂直角(°)	予測実施地点	理由
9	茅野市 玉川泉野	遠景 (10km～)	1.6	7.4	0.6	—	平地から事業地が見える数少ない場所ながら、主要な眺望の方向からは外れているため、眺望の対象となりづらい。また、距離も12.1km離れているため、対象としない。
10	守屋山	遠景 (10km～)	-1.2	6.3	1.2	○ 予測地点 5	登山などの利用があり、頂上からは対象事業実施区域方面が眺望できるため対象とする。
11	高ボッチ山	遠景 (10km～)	-1.2	8.3	0.8	○ 予測地点 6	八ヶ岳中信高原国定公園に指定されている。利用者は少ないが、自動車で山頂まで容易にアクセスでき、写真愛好家にも有名な場所である。山頂からは対象事業実施区域方面が眺望できることから対象とする。
12	ピラタス 蓼科スノーリゾート	遠景 (10km～)	-2.1	8.6	0.9	—	スキー・スノーボードなどの利用があり、対象事業実施区域方面が眺望できるが、事業予定地まで13.4km離れていることから対象としない。
13	北八ヶ岳 ロープウェイ山頂駅	遠景 (10km～)	-3.1	8.4	0.9	—	観光等の利用があり、山頂駅からは事業予定地方面が眺望できるが、対象事業実施区域まで14.6km離れていることから対象としない。
14	北八ヶ岳 (横岳)	遠景 (10km～)	-3.6	6.3	0.7	—	登山の利用があり、頂上からは事業予定地方面が眺望できるが、対象事業実施区域まで14.5km離れている。八ヶ岳連峰(赤岳)に代表させるため対象としない。
15	八ヶ岳連峰 (赤岳)	遠景 (10km～)	-3.8	5.4	0.8	○ 予測地点 7	登山の利用があり、頂上からは対象事業実施区域方面が眺望できるが、事業予定地まで21.7km離れている。しかし、八ヶ岳全山を代表する場所かつ標高が最も高い場所であることから、山岳地の眺望地点の代表として対象とする。

注) 近景・中景・遠景: 影響調査における景観については、視点場からの距離により、近景(視点場からの距離が概ね0.1km～0.5km)、中景(視点場からの距離が概ね0.5km～3.0km)、遠景(視点場からの距離が概ね3.0km～)の3つに分類されている。



凡 例

対象事業実施区域

● 景観予測地点

可視範囲

(対象事業実施区域の上部で尾根上に位置するもっとも見えやすい場所が見える範囲を示す)

図 4-12-2

景観に係る予測地点



0 2 4 6 8 km

1:200,000